
『経済セミナー』（日本評論社）

「公共政策入門 経済学的アプローチ」

伊藤 隆敏

第1回 公共政策の経済学的アプローチとはなにか

(2015年10・11月号(686号)、85～97頁)

➤ 宿題（1）の答え

供給曲線が $Q = \alpha_S + \beta_S P$

需要曲線が $Q = \alpha_D + \beta_D P$

とすると、均衡では2本の曲線の交点であり、 Q と P は一致しなくてはならない。

$\alpha_S + \beta_S P = \alpha_D + \beta_D P$ を P について解くと

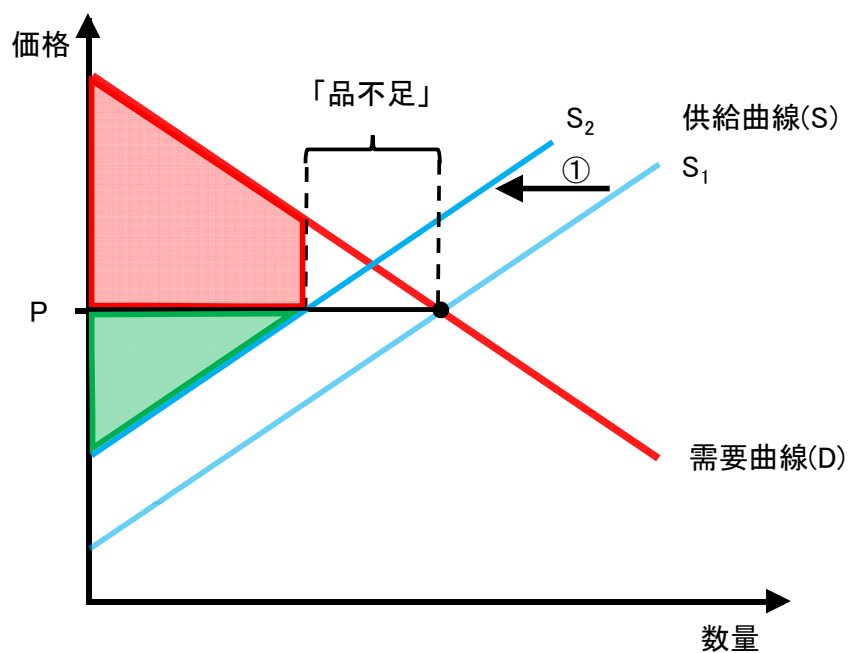
$$P^* = \frac{\alpha_D - \alpha_S}{\beta_S - \beta_D}$$

である。この P^* の値を供給曲線または需要曲線に代入すると

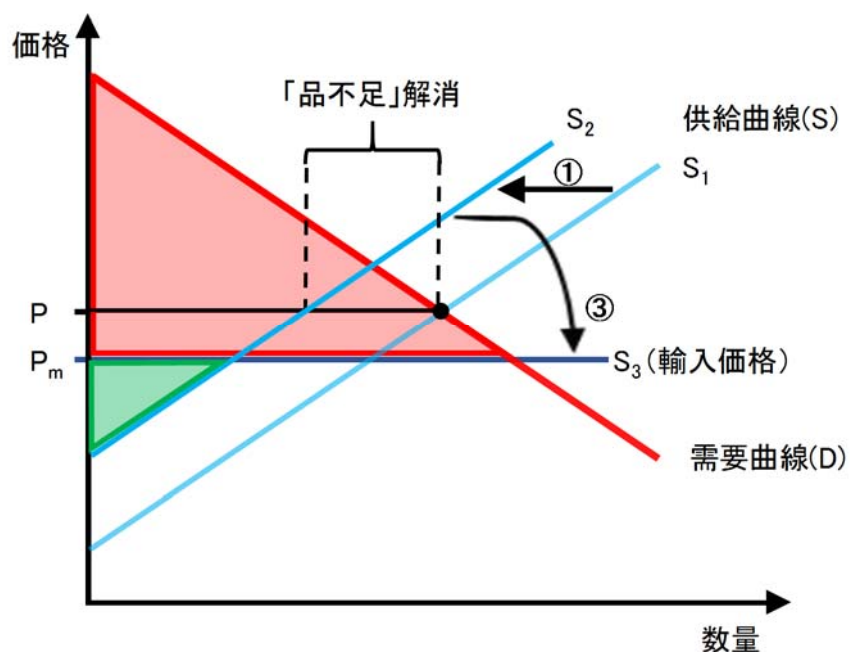
$$Q^* = \alpha_S + \beta_S \frac{\alpha_D - \alpha_S}{\beta_S - \beta_D} = \frac{\alpha_D \beta_S - \alpha_S \beta_D}{\beta_S - \beta_D}$$

となる。 $P^* > 0$ 、 $Q^* > 0$ となるのが正常なので、 α_D 、 α_S 、 β_D 、 β_S の間には、いくつかの仮定が必要となる。

➤ 宿題（2）の答え



- ① バターの生産量が落ち込む
- ② それなのに、価格を変えないとすると、品不足が発生する。



- ① バターの生産量が落ち込む（生乳の生産が落ちたため）
- ② それなのに、価格を変えないとすると、品不足が発生する。
- ③ 輸入を解禁すると、価格が下落し消費（需要）は伸びる。消費者余剰は増加、生産者余剰は減少する。